

## 2018－19年度EMC事業通信 No.7



2018－19年度EMC事業主任 小野 勲<sup>とむくに</sup>紘(六甲部西宮)

### ○私たちにワイズはほんとうに必要なのか？

\* 1月1日付後期半年報の数は1, 492名(前期比+28名)

(12月末現在の会員数は1, 512名(前期比+48名)／83クラブ)会員異動報告書による集計

1月1日付の「半年報」の数字が出揃いまして皆様には1, 492名という数字が報告されました。しかし、提出いただいた「会員異動報告書」による集計では上記の( )書きの数字になっていました。順調に推移しているかのように楽観していましたが、実際の数字とは20名ほどの乖離があり、愕然としております。この傾向は毎年のことですが、大きな差ががっかりします。

入会時にはワイズキットなど送付の関係から確実に「会員異動報告書」を提出いただいて大きな差が生じないのですが、退会時や連絡主事の異動等で漏れがあるようです。今後とも確実に「会員異動報告書」を提出いただきますようお願いいたします。集計は半年報の数字を基にして修正したものです。特に今期は9月1日に九州部において「熊本五福クラブ」(27名。内5名は既存クラブよりの転会)が華々しくチャーターされて、期待が持てるスタートでしたが、その割に九州部の数字が伸びていません。やはり一方退会もかなり多くなった結果だと思われる。その原因となる動機の分析と対策も行って今後の方向を質していきたいものです。

また中部の再生「とやまクラブ」が5月11日のチャーターに向けて準備委員の皆様は全員で、最後の詰めを行っておられます。一方西日本区内にはいくつかのクラブはその役目を終えて収束の時を迎えようとしています。高齢化と会員の減少は多くの場で重ねて到来してきます。国際協会では5名でクラブチャーターの基準を緩和されました。しかし、それはクラブの活性化がどちらを向いているかで、希望にもなり、失望にもなります。せっかく5名という緩和策が出たのですから、上向きの希望に溢れるクラブのスタートでありたいものです。

通常は各クラブ、各部においては新規チャーターの目途や方向が見えてから「(仮称)〇〇クラブ新規設立準備委員会」なるものが設置されて多くのメンバーが準備に当たります。しかし、そういった機運が出てこないと活動すらスタートしないという風潮が見受けられます。そこで、提案ですが、具体的な候補や立地があろうとなかろうと、部毎に常設の「新クラブ設立準備委員会」なる組織を各部の評議会に諮って立ち上げて欲しいのです。そこには、例えばYMCAの拠点(ブランチや保育園など)を中心としたクラブ(大阪、神戸、大阪西、名古屋、京都、北京都フロンティア、岩国みなみ、熊本五福など多くのクラブ)、教会員を中心としたクラブ(北欧のクラブの殆ど、近江八幡はヴォーリーズ氏が滋賀YMCAと共に作ったクラブ)、YMCAのリーダーOBOGを中心としたクラブ(西宮クラブは80%がリーダーOBOG。OBOG会との連携)、個人事業主を中心としたクラブ(京都部など多くのクラブ)、趣味の仲間が作ったクラブ(芦屋クラブはテニス仲間)など多くのケースが考えられます。そういったケースをまず立ち上げた設立準備委員会で模索研究して、より可能性のあるケースを見つけていただきたいと思います。皆さまの希望に期待します。

## ○各部における組織上の課題

各部には部会や EMC シンポジウムなどの機会に評議会にも臨席させていただく機会もありました。その中で今期の後半に入ると**次期人事構想**が如実に到来してきます。そこで目にするのは次期の部長やクラブにおいては会長を受ける人がいないという切実な問題です。メンバーの少ないクラブでは一人の方が何度も部長や会長を経験されている実状を目にします。メンバーが潤沢におられた時期には輪番制にしても次の順番が回ってくることはまずないだろうということで、まあ1回位は義理でも努めなければ仕方がないということで、何とか熟せてきました。しかしメンバーが10人を切ってしまうと切実になってきます。ワイズにおいては「役割が回ってきたら決して断つてはいけないという不文律」も、高齢で健康にも自信がなくなってくると辞退せざるを得なくなってきます。「会長になるならワイズを辞める」といった言葉を決まり文句とされている方には無理強いが出来なくなってきます。**輪番制の限界**を感じるどころです。

こういったメンバーの少なくなってきたクラブは、単独でキャビネットを構成することは不可能になるでしょうから、**複数のクラブがチームを組んでキャビネットを構成**(近隣地域や親子関係のクラブなど)するといった道をお勧めします。チームとしてはせめて合計で20名以上は必要でしょう。なぜならキャビネットをサポートするメンバーも必要だからです。組織というものはいつまでも旧態依然としていては硬直化します。時代とその容態により提案工夫していかなければなりません。是非再生すべき一番効果的な組織と人選を行っていただきたいものです。**合同例会**もその一例です。昨年は京都ウエルクラブが中心になって在京5クラブが合同例会を持たれて、活気溢れる例会だったとお聞きしました。クラブとしてもメンバーとしても決して孤立しないで下さい。

## ○EMC シンポジウム各部においてほぼ終了

7月22日(日)の九州部を皮切りに西日本区内の EMC シンポジウムの日程をほぼ終了いたしました。京都部におかれては2回目のシンポジウムをこの2月4日にも開催され意欲的に活動されています。今回は基本的に EMC の立場から、過去のデータを基に問題点を洗い出し、今後進むべき道の模索を行いました。この中で抽出したデータの中の問題点については、別途「入退会動機」の分析作業が未了です。この「入退会動機」の洗い出しにより、今後打ち出していかなければならない「具体的対策」につなげなければなりません。この作業はいかにワイズにおいて満足感を得ているかの実感が問われるところとして、次期 EMC 事業主任を担っていただく牧野ワイズに期待するところです。私は今期において基礎となるデータを提供したいと思っております。なぜならワイズに満足感を得ていなければ退会するはずがないからです。退会する多くの方はワイズに失望して去っていかれることは何としても避けたい課題です。転勤や家族の介護、逝去や健康上の課題など止むを得ない事由は沢山あります。しかし、満足感が得られず、失望の中に退会されていかれるのは残念です。そういった実際の姿を浮き彫りにして次期につなげたいと思っております。皆さまの絶大なるご協力を期待するものです。

### EMC シンポジウムの基本スタイル

- ① ワイズ将来構想特別委員会制作の「新生ワイズ起こし運動」の DVD 上映
- ② EMC 事業主任から過去のデータに基づく説明と課題の抽出ならびにその対策
- ③ ワイズ将来構想特別委員会の活動から森田委員長の講演
- ④ メンバーの自由討議

※その他、インタビュー、経験談 etc.

## EMC シンポジウム開催実績

1. 九州部7月22日(日)熊本 YMCA(評議会)
2. 六甲部7月29日(日)神戸 YMCA(評議会)
3. 京都部8月24日(金)京都メルパルク
4. 中西部8月25日(土)大阪木材仲買会館
5. 阪和部9月8日(土)南大阪 YMCA
6. 西中国部9月29日(土)東広島市のホテル(西中国部部会)
7. 中部12月22日(土)名古屋 YMCA
8. びわこ部1月26日(土)近江八幡勤労福祉会館
9. 京都部(2回目)2月4日(月)ホテルモントレー
10. 中西部(2回目)を計画中。交流を中心に楽しいシンポジウムを和田主査を中心に模索中。



## ○今後の予定

- 1月末: 国際ブースター賞適用期間終了。申請締め切り: 2月10日。
- 2月中旬: 第3回 EMC 事業員会。
- 2月10日: とやまクラブ設立総会
- 3月9日(土)~10日(日)次期会長・主査研修会 コロナホテル
- 3月15日: YES 献金振り込み締切。(適用人数7月1日付半年報人数×500円)
- 3月 EMC パートナー賞申請受付開始
- 3月末: 西日本区大会における表彰対象新申請締め切り。4月10日: 申請締切。

## NGT98作戦!

N賑やかな例会に、G元気で若々しく、T楽しいお友達を98人お招きしましょう。

## 《コラム》

西日本区 EMC 事業改革に再挑戦

### EMC 事業主任の大きな独り言 第2弾

#### —私のYMCA、ワイズ体験とボランティア活動について—

私事ですが私がYMCAに入って、キリスト教に触れ、ワイズメンズクラブの仲間となったきっかけは以下のような全く偶然の出会いでした。迷える子羊(今では迷える親爺ですが)とも言えるような数奇な体験からでした。私の拙い体験談です。

#### 1. 高校時代に決闘の立会人になる

高校時代の友人が神戸 YMCA で空手を習っていて、自分の腕前を試したくてウズウズしていたようでした。ある日の昼休みに、校舎の裏側で決闘をやることになったとのことで、私にその立会人になって欲しいと頼まれたのです。全く真意が分からないまま、その日はやってきました。相手方と目が合ったとかで決着を付けようというのです。相手側にも立会人や仲裁役が用意されていました。昼休みの30分ほどが決闘の時間のようなものでした。仲裁役の「はじめ!」の声で2人の戦いが始まりました。戦いと言っても単なる殴り合いでしかない時間が20分ほど続いたのでしょうか。午後の授業が始まるので、仲裁役が「それまで!」と終了を告げました。空手を習っていた友人は無傷でしたが、相手方は血だらけになっていました。2人は抱き合って「もう喧嘩はこれで終わりにしよう。これからは友達として仲良くしよう」と誓い合っていました。「これが本当の男の友情というものか」と変に感動してしまいました。

## 2. YMCA 入会とキャンプリーダーを志願

その後、この友人から「大学に入ったら YMCA で空手を一緒に習おう」と誘われました。私は中学、高校とテニスをやっていて、空手には全く興味がありませんでした。取り合えず YMCA に入ったものの、YMCA にはテニスのクラブはありませんでした。ボールは小さいが似ている卓球クラブに入って、いつかテニスクラブを立ち上げようと機会を狙っていました。

その夏、卓球クラブは神戸 YMCA が主宰する小豆島の余島キャンプに参加しました。そこは異次元の世界で、大学生たちがキャンプリーダーとしてボランティア活動を行っていました。そこに気に入った女性リーダーが生き生きとして活動していました。リーダーになったらあんなリーダーとお友達にもなれるのかと思い込み次の年、キャンプリーダーを志願したのです。それは全くの勘違いというか誤解でした。お目当てのリーダーは1年間で辞めてしまっていました。担当主事から「小野さんはどのような動機でキャンプリーダーを志願したのですか？」と聞かれた時、私は思わず「青少年の健全な育成に寄与したくて」と言ってしまいました。結局そのまま4年間卒業するまで務めることになった

## EMC事業実施報告書の公開

2018-19年度西日本区 EMC 事業委員会

今期も EMC 事業を中心とした活発な活動を「EMC 事業実施報告書」にして報告いただいています。そんな様子を公開いたします。皆様のクラブでも EMC 事業を強化する活動がありましたら、是非お知らせ下さい。

今月ご報告いただいています報告書は以下の通りです。

### 7. 中西部 EMC シンポジウム

報告者：中西部部長 谷 正一

#### 8月25日(土)13時～、大阪木材仲買会館 参加者：50名

- ① ワイズ将来構想特別委員会制作の「新生ワイズ起こし運動」の DVD 上映
- ② 過去のデータから会員動向や異動の傾向を説明 小野 勅紘 EMC 事業主任  
今期の主題「NGT98」への挑戦
- ③ ワイズ将来構想特別委員会の活動の講演 森田 恵三委員長
- ④ 中西部内での自由討論  
谷部長より提唱の「中西部 8クラブ家族となって EMC」のコピーの実践を誓い合った。
- ⑤ みんなで歌いましょう……和田 EMC 事業主査の伴奏とリードで「故郷」「赤とんぼ」を合唱  
※飛び入りで小野主任による「故郷」の“あてぶり”を皆で踊った。

※中西部では和田早苗主査の提案で、楽しい交流中心の第2回目のシンポジウムを企画中。

### 8. 九州部熊本五福クラブチャーター

9月1日(土)13時～、ANA クラウンプラザ熊本

新クラブとしてチャーター：27名(内5名は転会)

別紙のとおり

( EMC ) 事業実施報告書

2019年1月29日

ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区理事 遠藤 通寛 様

西日本区(EMC)事業主任 小野 勅紘 様

九州部部長 上村 眞智子 様

九州部事業主査 岩本 守弘 様

九州部 熊本にしクラブ

会 長 町田 由美子 ⑩

(EMC)担当 宮村 陶太 ⑩

下記の通り(EMC)事業活動を実施しましたので、報告します。

言 己

1. 事業名 熊本五福ワイズメンズクラブ加盟認証伝達式  
(熊本にしワイズメンズクラブが親クラブとしてチャーター)
2. 実施年月日(又は期間) 平成30年9月1日
3. 実施場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

1. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)

東会長、亀浦設立委員長をはじめ総勢30名に迫ろうとする新しいメンバー九州部17番目、熊本で12番目となるこのクラブの門出を、西日本区の会員増強の突破口になってほしいとの期待も込めて温かく見守りました。新クラブのこれからの発展をお祈りしつつ、親クラブとしてにしクラブも共に協力して活動して行きたいと思えます

※別紙写真添付

※( )内に事業の種類を記入(Yサ・ユース)(地域奉仕)(EMC)(ファンド)(交流)(広報)(メネット)

※4部作成の上、理事及び事業主任・部長及び事業主査へご提出下さい。

別紙



東熊本五福クラブ会長・遠藤理事・小野 EMC 事業主任・上村九州部部长・町田熊本にしクラブ会長（スポンサークラブ）



若き熊本五福クラブの精鋭たち27名 羽ばたく！

実施報告書」のフォーマットです。コピーしてお使い下さい。

E M C 事業実施報告書		年	月	日
ワイズメンズクラブ国際協会				
西日本区理事	_____			様
西日本区EMC事業主任	_____			様
部 部長	_____			様
部事業主査	_____			様
_____部	_____クラブ			
	_____	会 長		⑩
	_____	EMC担当		⑩
下記の通りEMC事業活動を実施しましたので、報告します。				
言 己				
1. 事業名				
2. 実施年月日（又は期間）				
3. 実施場所				
4. 概要・結果（別紙可、実施資料・写真添付）				
5. その他				
※4部作成の上、理事及び事業主任・部長及び事業主査へご提出下さい。				